



平成 29 年 9 月 12 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 サ ダ マ ツ  
代表者の役職氏名 代表取締役 貞松隆弥  
社 長  
(JASDAQ・コード2736)  
問い合わせ先 取 締 役 磯 野 紘 一  
業 務 部 長  
電 話 番 号 0 3 - 5 7 6 8 - 9 9 5 7

## 持株会社体制への移行に関するお知らせ

当社は、平成29年9月12日開催の取締役会において、平成30年3月1日（予定）を目処に持株会社体制へ移行する方針を決定し、その本格的な準備を開始することを決議しましたのでお知らせいたします。

なお、持株会社体制への移行につきましては、平成29年11月29日開催予定の当社第54回定時株主総会で関連する議案が承認されることを条件として実施する予定です。

### 記

#### 1. 移行目的

当社は、「ジュエリーに愛と夢を込めてビジュ・ド・ファミリー」という経営理念のもと、ベトナムに製造拠点を構えるジュエリーのSPA企業として百貨店やファッションビル、ショッピングセンターを中心に現在国内80店舗、海外6店舗を展開しております。

当社が属する宝飾業界におきましては、地域や所得環境を背景とした消費の二極化に加え、テクノロジーやライフスタイルの変化等を背景とする消費行動や顧客ニーズの多様化が加速度的に進行しており、さらなる付加価値の訴求や消費の個別化への対応が求められると認識しております。また、ブランドビジネスにおいては、訪日外国人の増加等を背景に国内マーケットもグローバル基準に近づいており、海外で通用するブランドでなければ、今後、日本でも通用しなくなることが予想されるなど、企業競争力の確保としてジャパンブランドの重要性が一段と増しております。

このような状況下、当社グループにおきましては、中期5ヵ年計画で「競争優位性を進化させる」「環境変化にイノベーションで対応する」「ベースを固め経営基盤を強化する」の3つの基本方針を事業の中核と位置づけ、基本方針に基づく重要な施策として、ブランドの強化、本部機能の強化を掲げています。

ブランドの強化では、当社の USP (Unique Selling Proposition) 商品である“Wish upon a star”を主軸としたプロモーションをはじめ、アパレルやアクセサリ、バックブランドといった異業種や他社ブランド、精神価値を訴求する媒体とのコラボレーションを通じた“Wish upon a star”の認知度を向上させる取り組みを推進しています。また、基幹ブランド「フェスタリア ビジュソフィア」の誕生10周年を迎えた節目として、平成29年3月に世界の情報発信地である銀座中央

通りに「フェスタリア ビジュソフィア ギンザ」をオープンし、グローバル旗艦店としてアジア本格展開への試金石と位置付け、インバウンド需要やブライダル需要の獲得強化に加え、海外に通用するジャパンプランドの確立に向け、経営資源の重点投入を進めております。

本部機能の強化では、本社マネジメント機能として、既存分野である店舗展開に加え、成長分野である e コマースや越境型 O 2 O 等、多彩なチャネルの開拓に対する投資を推進するほか、SPA 企業としての成長に向けた取り組みを展開しています。

今後、既存ブランドの強化及び新規ブランドの立ち上げ、海外展開、e コマースや越境型 O 2 O をはじめとしたチャネル構築を促進させ、SPA 企業としてグループの成長を実現するためには、C I（コーポレート・アイデンティティ）を刷新し、コーポレートセンター機能の強化に向けたスキルの高い人材の獲得に加え、これらを有機的に機能させる環境整備が必要であると認識しております。さらに、事業を取り巻く外部環境が急速に変化しているなか、当社グループのパフォーマンスを維持・向上させつつ、さらなる企業価値の向上を実現するためには、本社改革を中核としたグループ全体の構造改革により、スピード経営に柔軟に対応できる組織体制への移行が不可欠であると認識しております。

そのような観点から、グループ戦略機能を担う持株会社と戦略を実行する事業会社を分離し、持株会社によるグループ全体最適視点での経営資源配分や事業会社における迅速な意思決定による機動的な事業運営の推進が必要と判断し、持株会社体制へ移行する方針を決定いたしました。

## 2. 移行方法

持株会社体制への具体的な移行方法等につきましては、決定次第改めてお知らせします。

## 3. 今後の予定

取締役会における関連議案の承認	平成29年10月13日（予定）
定時株主総会における関連議案の承認	平成29年11月29日（予定）
持株会社体制への移行	平成30年3月1日（予定）

以 上